

都市再生整備計画 事後評価シート
中心市街地地区

平成26年10月

和歌山県海南市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	和歌山県		市町村名	海南市		地区名	中心市街地地区			面積	67ha		
交付期間	平成22～26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	878.1	国費率	0.229				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路((仮称)築地2号線、都市計画道路日方線、駅前街区16号線、駅前街区2号線、築地1号線)、地域生活基盤施設(広場整備、駐車場整備)										
		提案事業	地域創造支援事業(新病院用地取得)										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		基幹事業	地域生活基盤施設(広場整備)			市庁舎移転の検討に伴い、隣接する当該事業用地と跡地活用とともに、一体的に検討する必要性が生じたため。				—			
		提案事業	—			—				—			
新たに追加した事業		基幹事業	道路(日方41号線、日方47号線) 地域生活基盤施設(東浜東排水ポンプ場、日方小前排水ポンプ場)			道路・側溝整備による狭路解消や溢水対策を講じるため。 地域生活基盤施設:降雨による浸水被害に対応するため。				—			
提案事業	—			—				—					
交付期間の変更	当初	平成22～26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	—		—									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	中心市街地に魅力があると感じている市民の割合	%	10.8	H21	25.0	H26	11.7	△	あり なし ●	医療センター建設により、一時的に指標の改善が見られたが、計画区域が津波による浸水区域内にあることから、東日本大震災の発生が大きく影響し、指標の改善につながりにくい状況にあった。	平成27年6月	
	指標2	中心市街地内の人口	人	3,273	H21	3,120	H26	3,118	△	あり なし ●	目標値を下回ったものの、環境整備により中心市街地人口の減少を抑制することができた。	平成27年4月	
指標3	海南市民病院の利用者数	人/年	119,508	H21	165,000	H26	112,475	△	あり なし ●	平成25年3月に海南医療センターとしてのリニューアルに伴い、旧市民病院時代から減少していた利用者数が平成25年度は増加に転じた。	平成27年4月		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	—											
	その他の数値指標2	—											
その他の数値指標3	—												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路日方線を新設したことで、中心市街地へのアクセスが改善された。 ポンプ場整備を行ったことで、浸水被害の低減が図られた。 												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

中心市街地地区(和歌山県海南市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大項目 安心・暮らしの潤いを基本に、多様な人々が惹かれる 賑わい拠点の再構築 目標1:生活利便性の向上を図る 目標2:安心して暮らせる居住環境を創出する	中心市街地に魅力があると感じている市民の割合	単位:% 10.8 H21	25.0 H26	11.7 H25
	中心市街地内の人口	単位:人 3,273 H21	3,120 H26	3,118 H25
	海南市民病院の利用者数	単位:人/年 119,508 H21	165,000 H26	112,475 H25



まちの課題の変化	計画に取り組むことで、中心市街地地区へのアクセスの改善や海南医療センターの開院、浸水対策の強化などが図られたが、旧市民病院跡地が未活用となっている。また、市庁舎の移転を検討しており、市庁舎跡地の有効活用についても検討する必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	中心市街地地区のにぎわい創出につながるよう、旧市民病院跡地への認定こども園の建設、また、市庁舎が移転した場合の庁舎跡地について、一般市民で構成される「海南市庁舎跡地活用懇談会」(平成26年4月1日設置)において、広く意見を聴取した上で、魅力ある市民交流施設の整備を行う。